

みずほCustomer Desk Report 2024/03/01号 (As of 2024/02/29)

金融市場部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	150.73
TKY 9:00AM	150.65	1.0838	163.20	GBP/USD	1.2662
SYD-NY High	150.70	1.0856	163.22	AUD/USD	0.6495
SYD-NY Low	149.21	1.0796	161.72		1.2681
NY 5:00 PM	149.97	1.0805	162.06		1.2614
					1.2624

	終値	(前日比)	終値	(前日比)
NY DOW	38,996.39	47.37	日本2年債	0.1800%
NASDAQ	16,091.92	144.18	日本10年債	0.7100%
S&P	5,096.27	26.51	米国2年債	4.6219%
日経平均	39,166.19	▲41.84	米国5年債	4.2509%
TOPIX	2,675.73	0.78	米国10年債	4.2531%
ソコ日経先物	39,305.00	255.00	独10年債	2.3995%
ロンドンFT	7,630.02	5.04	英10年債	4.1210%
DAX	17,678.19	76.97	豪10年債	4.1500%
ハンセン指数	16,511.44	▲25.41	USDJPY 1M Vol	7.98%
上海総合	3,015.17	57.32	USDJPY 3M Vol	8.15%
NY金	2,054.70	12.00	USDJPY 6M Vol	8.35%
WTI	78.26	▲0.28	USDJPY 1M 25RR	▲1.56%
CRB指数	275.08	▲0.19	EURJPY 3M Vol	7.67%
ドルインデックス	104.16	0.18	EURJPY 6M Vol	8.02%

東京	東京時間のドル円は150.65レベルでオープン。金融経済懇談会で高田日銀審議員が「2%物価目標の実現、漸く見通せる状況になってきた」との効派な発言をすると、ドル円は149.70台まで下落。その後の記者会見において、牽制的な発言を受けて150円台まで反発も買いは続かず、149.79レベルで海外時間に渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、149.79レベルでオープン。海外時間からの売りが一服し、米10年債利回りやクロス円の上昇を伴って150.10まで反発し、結局150.08レベルでNYに渡った。ユー・ドルは、1.0835レベルでオープン。独2月失業率が予想5千人に対して結果1万1千人となり一時急落するもすぐに買い戻され、大局的な市場への影響は限定的。結局、1.0829レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	NY時間のドル円は150.08レベルでオープン。朝方に発表された米新規失業保険申請件数と失業保険継続受給者数が共に予想より悪化した他、米1月個人支出(前月比)も前回より低下している結果が嫌気され、ドル売りが優勢となる。続いて発表された米2月シカゴPMIも予想より弱かった事から、149.21まで売られる。売り一巡後は、米1月PCEコアデフレーター(前月比)が前回より上昇している事が意識されてか、ドルの買戻しが入り、149.80近辺まで戻す。午後はデーリー・サンフランシスコ連銀総裁の「利下げが早過ぎるとインフレが詰まる可能性がある」等との発言が支えとなり、149.90付近を中心とした値動きが続く。149.97レベルでクロス。一方、海外市場のユー・ドルは1.08後半でスタート。独金利が上昇する動きにつれ高となり、1.0854まで上昇。その後は伸び悩み、小幅反落し1.0829レベルでNYオープン。オープン直後に発表された独2月CPIが予想を下回るも、ユー・ドルは反応薄。その後弱い米経済指標の結果を受け、ドル売り地合いから1.0856まで反発。しかし、その後は独金利が低下幅を拡大する展開が重しとなり、一転1.0796まで反落。午後は下げ渋り、1.08台を回復するも、1.0810近辺で上値重い値動きが続く。1.0805レベルでクロス。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあり得ます。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償のみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 田川・松木

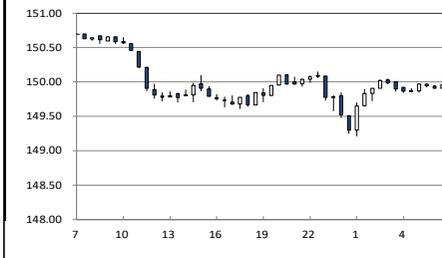
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
	09:30	豪 小売売上高(前月比)	1月 1.1%	1.5%
	10:30	日 高田日銀審議員 講演	「2%物価目標の実現、漸く見通せる状況になってきた。」	
	22:00	独 CPI(前年比/前月比)・速報	2月 2.5%/0.4%	2.6%/0.5%
	22:30	米 PCEデフレーター(前月比)	1月 0.3%	0.3%
	22:30	米 PCEデフレーター(前年比)	1月 2.4%	2.4%
	22:30	米 新規失業保険申請件数	24-Feb 215k	210k
	23:45	米 MNIシカゴPMI	2月 44.0	48.0
3月1日	00:00	米 中古住宅販売仮契約(前月比)	1月 -4.9%	1.5%

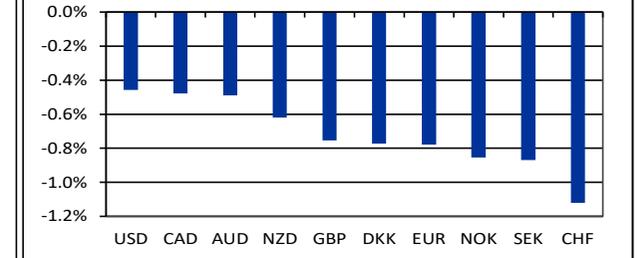
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
3月1日	10:30	中 製造業/非製造業PMI	2月 49.0/50.7	49.2/50.7
	10:45	中 Caixin中国製造業PMI	2月 50.7	50.8
	19:00	欧 CPI(前年比/前月比)・速報	2月 2.5%/0.6%	2.8%/0.4%
	19:00	欧 失業率	1月 6.4%	6.4%
	22:30	米 バーキン・リッチモンド連銀総裁 講演	-	-
	23:45	米 製造業PMI・確報	2月 51.5	51.5
3月2日	00:00	米 建設支出(前月比)	1月 0.2%	0.9%
	00:00	米 ミシガン大学消費者マインド・確報	2月 79.6	79.6
	00:00	米 ISM製造業景況指数	2月 49.5	49.1
	00:15	米 ウォラーFRB理事 講演	-	-

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	149.70-150.70	1.0740-1.0880	161.50-163.00

【マーケット・インプレッション】

本日のドル/円は戻りを試す展開を予想。昨日日本時間では高田日銀審議員の発言が注目されたが、内容に目新しさはなく、冷静に考えてドル/円相場を1円動かす要因となったとは言いがたい。よって、月末要因やポジション調整なども入っていたと考えられる。また、北米時間には149.21まで下押したが、時間は短く、北米時間のチャート的には下に往って来いとなっている。ここもドル/円は米指標やfed高官発言に対する感応度が低下し、横ばいの推移が続いていた。ひとえに、年央以降の利下げ織り込みを変えるほどのイベントがないと言えよう。結論として、昨日の日本時間はオーバーリアクション、また海外時間の149.21で一旦下はやり切ったと見る。本日東京時間はクロス/円が軟調とならなければ、ドル/円は150円台半ばまで戻りを試す展開を想定。